

令和八年度 学力検査問題

国語

(九時二十五分～十時十五分)  
(五十時間)

受検番号

注意

- 1 解答用紙について
    - (1) 解答用紙は一枚です。
    - (2) 係の先生の指示に従って、表と裏の所定の欄二か所に受検番号を書きなさい。
    - (3) 答えはすべて解答用紙のきめられたところに、はっきりと書きなさい。
    - (4) 解答用紙の＊印は集計のためのもので、解答には関係ありません。
  - 2 問題用紙について
    - (1) 係の先生の指示に従って、表紙の所定の欄に受検番号を書きなさい。
    - (2) 問題は全部で五問あり、表紙を除いて十四ページです。
- 印刷のはっきりしないところは、手をあげて係の先生に聞きなさい。

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(26点)

高校二年生の鈴木楓子は、地元で行われる「清水みなと祭り」で、かっぱれ(江戸時代から伝わる、民謡に合わせて踊る滑稽な踊り)を踊る部活動「清水いなせ組」に参加している。楓子は小学生の時に足を怪我しており、部ではマネージャーという立場である。また、楓子の友人で、同じ部に所属している朝波凜々は、「清水いなせ組」が披露するフリーダンスの振り付けを考えることになった。

掲載許諾申請中

掲載許諾申請中

(実石沙枝子著『踊れ、かっぽれ』による。一部省略がある。)

掲載許諾申請中





問2 中学生のAさんたちは、国語の授業で、実用的な文章をわかりやすく伝える工夫について、洗濯機の取扱説明書をまとめた資料を比較しながら話し合っています。次の「取扱説明書をまとめた資料」と「話し合いの様子」を読んで、あとの問いに答えなさい。

【取扱説明書をまとめた資料】

話し合いの様子

こんなときは	対処 (●こういう理由です ○こうしてください)
ジュジュという音がする。	●給水中の音です。 ○給水圧が高いと音が大きくなる場合があります。水道の蛇口を少し閉めて給水量を調整してください。
ゴゴゴという音がする。	●排水フィルターが詰まっていると、循環ポンプの音が大きくなります。 ○排水フィルターが詰まっていないか確認し、掃除してください。
ブォーという音がする。	●洗濯機の乾燥フィルターがわずかに浮いて、空気漏れする音です。 ○乾燥フィルターをしっかりセットしてください。
脱水ができない。	●洗濯物が片寄っています。 ○重いものが片寄らないように、洗濯物はドラム内に均一に広げて入れてください。 ○洗濯物を詰め込み過ぎないでください。

資料②

症状	調べるところ(販売店様向け) (●原因・理由 ○対処法)
給水時に継続的な断続音が聞こえる。	●給水電磁弁の開閉動作に伴う作動音です。 ○水栓バルブを適切にしばり、給水圧を調整してください。
排水時に空気が混入したような音がする。	●洗濯機の排水口詰まりの音です。 ○排水エルボや排水トラップを順番に取り外し、汚れを取り除いてください。
乾燥時に風切り音が発生する。	●リントフィルターが正しく取り付けられていない可能性があります。 ○リントフィルターを取りつけ直してください。 ○安全装置の点検・交換をしてください。
脱水が途中で止まる。	●回転センサー異常における、過負荷による安全停止動作です。 ○アンバランススイッチをチェックをしてください。

話し合いの様子

Aさん 「二つの資料を比較して、それぞれの説明の工夫について話し合ってみることにしましょう。」

Bさん 「はい。資料①では、擬声語が多く使われていることに気づきました。『ジュジュ』とか『ブォー』とかです。『ゴゴゴ』は、音の大小で正常か異常かも判断できますね。」

Cさん 「そうですね。私は、音がそのまま書かれていて、とてもわかりやすく感じました。」

Dさん 「資料①には、擬声語を使うことで実際の音や様子と照らし合わせることができる、という工夫がありそうですね。また、言葉もやさしいように思います。」

Aさん 「ありがとうございます。では、資料②について気づいたことはありますか。」

Cさん 「はい。資料②は、調べるところが専門的に書いてあると思います。『回転センサー異常における、過負荷による安全停止動作』のように、故障かなと思ったらどこに異常があるかすぐにわかりそうですね。」

Dさん 「しかし、専門的な言葉で書かれると、言葉が難しく理解できません。『給水電磁弁』などは、何のことかわかりません。」

Aさん 「そうですね。では、資料①と資料②は、なぜ書き方が違うのでしょうか。」

Bさん 「資料②には『販売店様向け』とあるので、取扱説明書を仕事で使う人や洗濯機を整備する人のような、すでに専門的な知識がある人に向けて書かれていないでしょうか。」

Dさん 「なるほど。資料①と同じような項目でも、専門的な言葉で理由や場所などが書いてあるの、誤解やあいまいさを防げそうですね。」

Cさん 「でも、一般家庭で洗濯機を使う人には、資料①の方がわかりやすいですね。」

Bさん 「いまのDさんとCさんの発言をまとめると、資料①と資料②の説明の仕方は、  
『I』という点でそれぞれ工夫がされているのではないのでしょうか。」

話し合いが続く。

(1) 次の文は、話し合いの様子の中の、Aさんの発言の一部です。――部の文節と――部の文節の関係を、あとのア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(3点)

それぞれの 説明の 工夫に ついて 話し合って みる ことに しましょう。

ア 主・述の関係    イ 修飾・被修飾の関係    ウ 補助の関係    エ 並立の関係

(2) 話し合いの様子の中の〰〰〰部の熟語ア～オについて、構成(成り立ち)が同じものを選び、その記号を書きなさい。(3点)

(3) では、資料①と資料②は、なぜ書き方が違うのでしょうか。とありますが、この発言の意図として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(3点)

ア 意見の相違点について、観点を明確にして合意形成しようとしている。  
 イ 二つの資料を比較することで、片方の優位性を強調しようとしている。  
 ウ 話題がそれたので、意見を整理して次のテーマを見直そうとしている。  
 エ 話し合いの到達点を意識して、目的に沿った進行をしようとしている。

(4) 空欄 I にあてはまる言葉として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(2点)

ア 具体と抽象を使い分ける  
 イ 読み手の立場に立つ  
 ウ 資料や機器を用いる  
 エ 互いの考えを生かす

(5) Aさんはこの話し合いのあと、取扱説明書について調べたところ、次の【虫よけ剤の取扱説明書】を見つめました。【虫よけ剤の取扱説明書】の中の、あ～えの内容について説明した文として適切でないものを、あとのア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(3点)

【虫よけ剤の取扱説明書】

**虫よけ剤**

**【効能・効果】** 害虫忌避

**【使用方法】**  
 レバーの下にあるストッパーを、開く位置に合わせる。使用後はストッパーを元の位置に戻す。肌から約10cm離して、適量をまんべんなくスプレーする。

**年齢による使用の目安**

12歳以上	使用回数制限なし
2歳以上 12歳未満	1日1～3回
6か月以上 2歳未満	1日1回
6か月未満	使用しないこと

**【使用上の注意】**  
**相談すること**  
 ○万一目に入った場合は、すぐに大量の水でよく洗い流すこと。また、具合が悪くなる等の症状が現れた場合には、直ちに、本品に含まれている成分を医師に伝えて診療を受けること。

**その他の注意**  
 ○定められた使用方法を厳守すること。  
 ○目や口の周囲や肌の弱い部分にはスプレーしないこと。  
 ○飲食物・貴金属・プラスチック製品等にかからないようにすること。

**火気厳禁**  
 ○直射日光や火気を避け、涼しく、子供やペットが触れない所に保管する。



ア ④のイラストは、【使用方法】の内容を補っている。  
 イ ①の表は、年齢による使用の目安を整理している。  
 ウ ②の波線が強調しているのは、万一の事態の対処方法である。  
 エ ③のマークは、禁止事項を視覚的に伝えている。

3

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(26点)

掲載許諾申請中

掲載許諾申請中

(吉岡洋著『AIを美学する なぜ人工知能は「不気味」なのか』による。一部省略がある。)

(注) ※SF……サイエンスフィクションの略。現実には起こりにくい状況を(科学にもとづいて)想定した創作。

※大時代的……大げさで古めかしいこと。

問1 今世紀に入って初めて、人工知能はにわかに多くの人々にとって、実際上の関心を集めるようになった。とありますが、その理由として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(4点)

ア 人工知能が社会に影響を与え始め、自然言語での対話が可能になったことで、AIがSF的な空想上の話題として取り上げられるようになったから。

イ 人工知能の使用が一般的になり、自然言語での対話が可能になったことで、人間はAIには及ばないという結論が導き出されたから。

ウ 人工知能が急速に発達し、自然言語での対話が可能になったことで、AIに対面する人間の欲望をコントロールする必要が生じてきたから。

エ 人工知能の能力が向上し、自然言語での対話が可能になったことで、AIが人間を超え、支配するといった話に真実味が感じられるようになったから。

問2 能力の「自己目的化」とありますが、人工知能における「能力の『自己目的化』」について、筆者の考えを次のようにまとめました。空欄 I にあてはまる内容を十字以上、十五字以内で書きなさい。(6点)

I ことそのものが、手段ではなく目的となってしまうこと。

問3 現実的な問題とありますが、ここで筆者は、どのようなことが「現実的な問題」であると考えていますか。最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(4点)

ア これまで人間が機械を使いながら仕事をする中で、かろうじて残っていた「人間にしかできない仕事」の領域までも、現代の人工知能が奪い始めていること。

イ これまで機械とともに仕事をする中で発達させてきた人間の能力が、人工知能の出現により通用しなくなり、新たな能力の開発が求められていること。

ウ これまで機械に奪われるかもしれないと考えていた仕事や、人工知能によって変容したことで、「人間にしかできない仕事」は何かが明確になりつつあること。

エ これまで機械に頼らず工夫して取り組んできた仕事の領域に、人工知能が介入することや、人間が扱う仕事と機械が扱う仕事の区別が必要になっていること。



## 4

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(……の左側は口語訳です。)(12点)

中国の思想家である莊子は、家がひどく貧しく、食べるものがなくなってしまった。そこで隣人の河侯のもとへ行き、今日食べる分の粟(食料)を求めた。

河侯が曰く、「今五日ありておはせよ。①千両の金を得んとす。それを奉らん。いかでかどうして

やんごとなき人に、今日参るばかりの粟をば奉らん。返す返すおのが恥なるべし。」といへば、賢く尊い 召し上がるだけ

莊子の曰く、「昨日道をまかりしに、跡に呼ばふ声あり。顧みれば人なし。ただ車の輪跡の

くばみたる所にたまりたる少水に、鮒一つふためく。何ぞの鮒にかあらんと思ひて寄りて見れば、

少しばかりの水にいみじう大きなる鮒あり。『何ぞの鮒ぞ。』と問へば、鮒の曰く、『我は河伯神の

使に、江湖へ行くなり。それが飛びそこなひて、この溝に落ち入りたるなり。喉渴き死なんとす。

②我を助けよと思ひて呼びつるなり。』といふ。答へて曰く、『吾今二三日ありて、江湖といふ所に

遊びしに行かんとす。そこにもて行きて放さん。』といふに、魚の曰く、『さらにそれまで

え待つまじ。ただ今日一提ばかりの水をもて喉をうるへよ。』といひしかば、さてなん助けし。

鮒のいひし事、我が身に知りぬ。さらに今日の命、物食はずは生くべからず。後の千の金 思い知った

さらに益なし。』とぞいひける。

(『宇治拾遺物語』による。)

(注) ※河伯神……河の神。

※江湖……大河と湖。水のたつぷりある場所。

※一提……容器一杯分。

問1 部A～Cの主語の組み合わせとして正しいものを、次のA～Eの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(3点)

- |   |                         |                            |       |
|---|-------------------------|----------------------------|-------|
| ア | A 莊子 <small>そうし</small> | B 鮒 <small>な</small>       | C 莊子  |
| イ | A 河侯 <small>かこう</small> | B 河伯神 <small>かほくしん</small> | C 河侯  |
| ウ | A 鮒                     | B 河伯神                      | C 莊子  |
| エ | A 莊子                    | B 鮒                        | C 河伯神 |

問2 ①おはせよ とありますが、この部分を「現代仮名遣い」に直し、ひらがなで書きなさい。(3点)

問3 ②我を助けよ とありますが、この訴えに対してどのようなことを答えていますか。空欄 I にあてはまる内容を書きなさい。(3点)

二、三日後に I こと。

問4 次は、この文章を読んだあとの先生とAさんの会話です。空欄 II にあてはまる内容として最も適切なものを、あとのA～Eの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(3点)

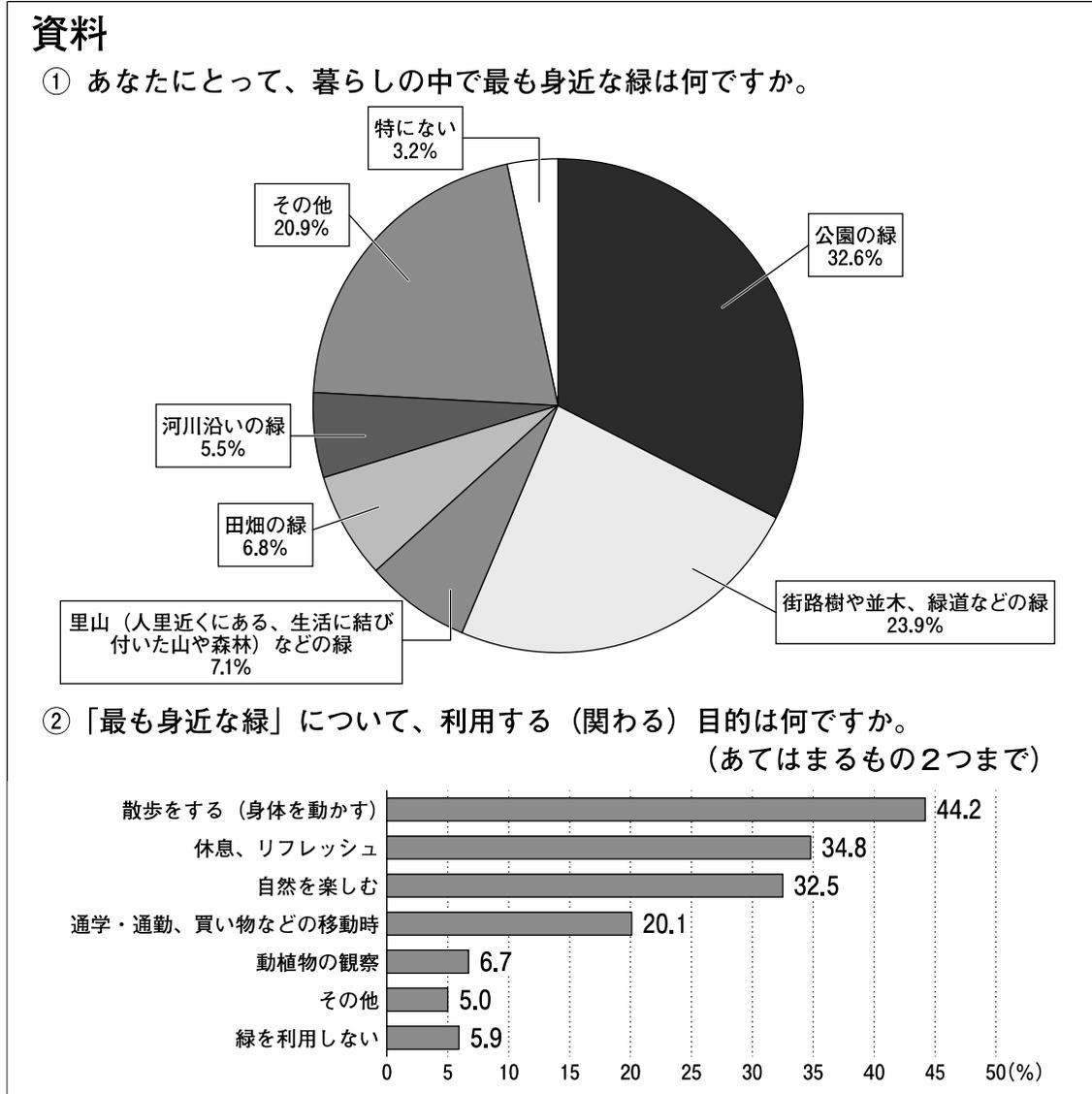
先生 「この文章で、莊子は鮒の話を持ち出して河侯に何を伝えたかったのでしょうか。」  
Aさん 「本文中に『鮒のいひし事、我が身に知りぬ』とあります。莊子は自分と鮒の境遇を重ねて II ということを伝えたかったのではないかと思えます。」  
先生 「そのとおりです。この話から『後の千金』という故事成語が生まれました。」

- ア 大金の援助を受けても、実際に役立つかどうかは後になってみないとわからない
- イ 必要な時に援助を得ることができなければ、たとえ大金をもらったとしても意味がない
- ウ 今日を生き延びるためにわずかでも金が必要であり、機会を逃すと利益はあげられない
- エ 理解のある人に自ら助けを求めなければ、千両の金のような貴重なものは得られない

## 5

次の資料は、「緑との関わり」について、主に県内在住者を対象に調査し、その調査の結果をまとめたものです。

国語の授業で、この資料から読み取ったことをもとに「身近な緑と関わり続けるために大切にしたいこと」について、一人一人が自分の考えを文章にまとめることにしました。あとの(注意)に従って、あなたの考えを書きなさい。(12点)



埼玉県 第239回簡易アンケート「緑との関わりについて」(令和5年度)から作成

(注意)

- (1) 二段落構成とし、第一段落では、あなたが資料から読み取った内容を、第二段落では、第一段落の内容に関連させて、自分の体験(見たこと聞いたことなども含む)をふまえてあなたの考えを書くこと。
- (2) 文章は、十一行以上、十三行以内で書くこと。
- (3) 原稿用紙の正しい使い方に従って、文字、仮名遣いも正確に書くこと。
- (4) 題名・氏名は書かないで、一行目から本文を書くこと。

(以上で問題は終わりです。)



